

平成 25 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	本郷児童センター	所管課	福祉部子ども家庭課
所在地	岐阜市青柳町5丁目24番地1		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	14,449,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄骨造平屋建 ◇敷地面積:1,468.33㎡ ◇延床面積:488.78㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室兼集会室、おもちゃ図書館、事務室、駐車場		

●利用状況

		H25 上半期	H24 下半期	H24 上半期	H23 下半期	H23 上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	11,627	10,937	12,377	10,372	11,165
	移動児童館利用者数	476	575	411	490	495
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	13	17	18	20	17
	開館日数(単位:日)	156	151	157	152	157

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長、正規職員(1名)、嘱託職員(1名)。うち児童厚生員3名 ③センター便り・幼児用センター便りの発行・配布、行事案内ポスター掲示、幼児クラブの案内掲示、行事ポスター掲示、児童館ホームページ掲載。ぶりがネット登録 ④苦情受付箱を常設 苦情・クレームについてはマニュアルに従って対応。アンケート調査結果は館内に掲示するとともに印刷して設置
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、④適切に実施。 ②就労促進事業施設清掃班による清掃を実施。 ③使用していない部屋の消灯、適正室温の設定等、節電を実施。廃品の再利用(リサイクル・リユース)に努めた。 ④おもちゃ病院のボランティアによる定期的なおもちゃの修理
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	②大規模な修繕については指定管理者並びに岐阜市に要望を提出。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	平成25年7月10日～19日に幼児クラブ参加の保護者にアンケート(無記名)を実施。 回答者数50人(回収率100%)
利用者アンケートの実施結果	○職員について ・あいさつ 満足41人、ほぼ満足7人、普通2人、やや不満0人、不満0人 ・言葉遣い 満足42人、ほぼ満足6人、普通2人、やや不満0人、不満0人 ・対応 満足41人、ほぼ満足7人、普通1人、やや不満0人、不満0人 ○施設について ・整理整頓 満足38人、ほぼ満足10人、普通2人、やや不満0人、不満0人 ・使いやすさ 満足35人、ほぼ満足12人、普通2人、やや不満1人、不満0人
利用者からの要望・苦情と対処・改善	・要望 ⇒回答 駐車場が狭い、入口が入りにくい ⇒岐阜市へ入口を広げてもらえるよう要望してある 幼児クラブの始まりのおどりがもう少し少なくていい ⇒ご意見を参考に、考えていきます。 8月も行事などをやってほしい。暑い日に子どもを連れて遊びに行ける場がないので ⇒8月は自由参加の水あそびひろばを開催しています。そちらの方にご参加ください。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	S	S	S
		区分評価			S	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	S	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他の団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	<input type="checkbox"/> 新規事業の開設 以前よりアンケートなどで要望の高かった幼児親子対象の講座「親子リトミッククラブ」「歯はっ子くらぶ」の2つを新規開設した。 <input type="checkbox"/> 事業実施回数の増加 健全育成事業 昨年度68回 → 今年度83回、子育て支援事業 昨年度37回 → 今年度48回、地域組織活動支援事業 昨年度28回 → 今年度38回実施し、利用促進につながるよう回数を増やした。 <input type="checkbox"/> ボランティア募集について ・明郷・岐阜・木之本小学校高学年、岐阜中央中学校や岐阜高校に呼びかけ募集を継続的に行った。地域の方にボランティアの活躍を認めてもらえる事業(夏まつり、収穫祭など)を実施した。 ・運営委員会等で大人のボランティアを広く呼びかけることで、事業の回数を増加させられた。また保護者等の利用者が昨年度と比較し250名増えた。
前回までの意見を踏まえた取組み状況	<input type="checkbox"/> 岐阜市社会福祉事業団内の会議、研修で、ノウハウ、情報の共有化や意思統一などを行った。 <input type="checkbox"/> 岐阜市社会福祉事業団のホームページからも本郷児童センターの毎月の便りが見られるようになり、より広く利用者へ広報できるようになった。ホームページの定期的な更新と状況に合わせた更新により、行事やクラブへの申し込み状況をくわしくリアルタイムで利用者にわかるようにした。 <input type="checkbox"/> 移動児童館で児童センター案内を配り、事業内容を説明し、利用促進を図った。
今後の取組み	<input type="checkbox"/> 本郷児童センターの事業を今後も発展をさせるため、地域の方や母親クラブ、NPOと協力して子育て支援や児童健全育成を行っていく。 <input type="checkbox"/> ボランティアの受け入れも継続して行き、児童センターとしての事業に不足する部分がないように協力をしていただく。

●所管課の意見

<p>児童センターのホームページの定期的な更新や地域の公民館へ案内を持参するなど事業を積極的にPRした。また今年度から新たに幼児保護者対象のお便りを毎月発行するなど広報活動に努めた。ニーズの把握とサービス改善にはアンケートを実施し、可能な限り利用者の意向に配慮するよう努めた。</p> <p>事業に関しては、人気のあった事業は回数を増やしたり、ベビ－ヨガなどの人気事業を開催した。新規では親子リトミックとボランティアによる「歯はっこクラブ」を開催した。</p> <p>経営状況については、問題なく運営が行われた。</p> <p>地域や地元との協力・連携も活発で卓球教室や走り高跳び教室を行ったり、ボランティア協力の依頼や募集を積極的に行った。</p>

●指定管理者評価委員会の意見

<p>事業運営は活性化されており、施設間での競争意識も働いて良い結果が出ている。今後も他施設との情報の共有・交換を積極的に行っていただきたい。</p> <p>子育て支援に対する社会の要望をきちんと把握し、うまく活動に取り入れている。</p> <p>ブログ等のインターネットを利用した広報は大変効果があり、引き続き活用していくと良い。</p> <p>適正に管理運営されており、良好と認められる。</p>
--